

みんな笑顔！プロジェクト 進行中

参議院議員として国政に携わらせていただき、3年余りがたちました。また、本年は1991年4月に29歳で福岡県直方市議会議員に初当選をして、政治活動20年という1つの節目を迎えました。

この1年間は、政権与党として研鑽を積み「国民お一人お一人を家族と思う心」で法律策定に取り組み邁進し、お蔭様で、法律策定のほかにも3年前の当選以来取り組んでいた「民主党塾教育を考える議員連盟（塾議連）」を立ち上げる事ができました。また「民主党統合医療を普及・促進する議員の会・柔道整復師小委員会」の事務局長として国民が安心して治療できるよう取り組んでいます。3年前に皆様にお約束した事をひとつずつ実現し「みんなが笑顔で暮らせる社会」にするため「奉仕と無の心」でがんばっています。

参議院議員 大島九州男



everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling- everything a smiling

2010プロジェクト Vol.1

<2010年-大島九州男 国会発言>

(2010.10.31 現在)

大島 九州男-国会発言記録 (抜粋)

開会日	会議名
2010.01.28	参議院 本会議(賛成討論)
2010.02.17	参議院 国際・地球温暖化に関する調査会
2010.02.24	参議院 国際・地球温暖化に関する調査会
2010.03.05	参議院 予算委員会
2010.03.16	参議院 予算委員会公聴会
2010.03.19	参議院 文教科学委員会
2010.03.24	参議院 予算委員会(賛成討論)
2010.03.25	参議院 文教科学委員会
2010.04.07	参議院 国際・地球温暖化に関する調査会
2010.04.27	参議院 文教科学委員会
2010.05.25	参議院 文教科学委員会
2010.09.07	参議院 文教科学委員会

参議院本会議 2010.01.28

参議院本会議にて、予算規模7.2兆円、事業規模24兆円の平成21年度第2次補正予算が、賛成142、反対82で可決、成立致しました。これに先立ち、大島九州男参議院議員は、民主党・新緑風会・国民新・日本を代表して「賛成討論」を行いました。本会議で初めての登壇です。



賛成の理由には、①長期失業者、新卒者に対する雇用対策が盛り込まれていること、②環境エネルギー分野に重点をおいていること、③中小企業の資金繰りに対し、セーフティネット貸付の延長・拡充と緊急保証を創設するなど十分な配慮がなされていることを挙げ、平成21年度第2次補正予算は平成22年度予算へ“絆”をつなぐ予算であると主張し、賛成討論を締めくくりました。

参議院予算委員会 2010.03.05



大島九州男議員は自身が野党時代から手がけていた高校無償化法案や教科書バリアフリー法案をはじめ、統合医療、中小企業対策など幅広く質問を行いました。

その中で、大島九州男議員は、教育・統合医療・中小企業…すべての分野において「大きな木にはたくさんの水が必要。小さな草花

には、少しの水でよい。与えすぎても少なすぎても効果は表れない。国民お一人おひとりを大切に作る施策を…」と強く訴えました。

それらを受け鳩山総理は、「きめ細やかな対策を行うために、科学的、かつ精緻に現状を調べ、どういう方々にはどういう施策が必要なのか、そのことをしっかりと認識し、内閣を挙げて対策に万全を期したい」と答弁しました。

参議院文教科学委員会 2010.09.07

大島九州男議員は、国会閉会中審査の中、文教科学委員会で①高校無償化②BJT ビジネス日本語能力テスト中止報道について質問を行いました。



大島九州男議員は、国の私立高校生への経済的支援が地方財源の肩代わりにならぬよう、注視して頂くよう文科省に要望。また、ビジネス日本語能力テストの中止について、公益法人から文科省に正式な報告が無い事の問題をただし、今後の対応に厳しい指導を求めました。川端大臣はそれを受け適切に指導、助言をする事を約束されました。

2010-参議院所属委員会

09.10.26~現在	文教科学委員会・委員
09.10.26~10.09.30	予算委員会・理事
09.10.26~10.09.30	国際・地球温暖化問題に関する調査委員
10.10.01~現在	行政監視委員会 筆頭理事
10.10.01~現在	政府開発援助等に関する特別委員会委員

2010プロジェクト Vol.2

政策実現に向けて (議員連盟での活動)

民主党塾教育を考える議員連盟 発足



4月27日、松本龍衆議院議員を会長とする「民主党塾教育を考える議員連盟(略称:「塾議連」)」が発足しました。大島九州男参議院議員は、福岡県直方市で塾経営をしていたこともあり、当選以来2年9ヶ月ほどかけて立ち上げた念願の議員連盟です。

塾議連は、文部科学省と連携し、公教育に塾教育のエッセンスを取り入れ、塾講師の経験やノウハウを義務教育に生かすなど、子どもたちの基礎学力を底上げすることを目標としています。今後は、塾関係者をはじめとする有識者や塾団体から様々なご意見を伺ったりする予定です。

事務局長の大島九州男議員は、塾議連発足にあたって「本来、子どもを育てるための“教育”に公も民も関係ない。将来、世界を担う財産としての子どもたちを育てることは“教育”の共通目的である。塾の現場の皆さんの声を、きちんと政策に反映するための勉強会になれば」と抱負を述べました。

日本の新しい形を作る 連理の会

松本龍衆議院議員を中心とした政策提言グループが8月4日に初会合を開き、発足しました。

連理の会代表の松本龍議員は「多種多様な業界から現場の実情を聞き、政策提言につなげる会にしたい」と強調。また幹事長の大島九州男議員は「医療、教育、建設分野などに精通した議員を育てる場とし、政権与党の足腰を強くしていく」と述べました。



◆大島九州男が活動する、主な議員連盟での役職◆

- ・民主党統合医療を普及・促進する議員の会 事務局長代理
- ・民主党統合医療を普及・促進する議員の会 柔道整復師小委員会 事務局長
- ・民主党塾教育を考える議員連盟 事務局長
- ・私学振興推進議員連盟 事務局長
- ・日本の新しい形をつくる連理の会 幹事長

柔道整復師 小委員会 ダイジェスト



3月16日

歴史的！柔道整復師業界の各団体が一同に会する。

柔整各団体と小委員会の役員と意見交換を開催。

業界が一体化になって取り組むことを確認。

これまでに、松本龍委員長・大島九州男事務局長を中心に小委員会で20数回の議論を交わした末の歴史的会合。

4月6日(厚生労働省保健局・柔整23団体46名参加)

柔道整復師業界団体の不正請求に関する自主規制の提案がされる。業界が纏まった提言を受けて厚労省は療養費改定に向けて5月中旬までに方針を固める意向。

5月17日(厚生労働省保健局・柔整20団体44名参加)

厚労省担当官より、6月からの料金改定の報告。行政刷新会議の数値ではなく、全体のバランスを考えての数値の背景には、柔整業界内部がひとつに纏まり適正化を図ろうとしているところが大きかったとの報告も付け加えられた。

2010プロジェクト Vol.3

声を直接受け止める

政治には、国民生活を肌で感じ取り、敏感に迅速に対応するスピード感が重要です。大島九州男議員は、まず現場に入り皆さまと対話する事から始め、生の声を直接聞き受け止め国民目線で「国民の生活が第一」に考え、国政に反映できるよう日々東奔西走しています。



4月22日<千葉県柏市> 放射線安全規制に関しRI廃棄物処理場視察



5月25日<東京都内> ラオス国民議会議長一行との懇談



7月18日<福岡県直方市> 津川国交省政務官を、豪雨災害視察の受入



9月16日~24日<アメリカ> 参議院重要事項調査団の団長として渡米。司法制度、防犯防止対策などを調査



10月9日<熊本県水俣市> 松本龍環境大臣・熊本県知事らと水俣病未認定患者救済制度の意見交換。



10月25日<愛知県名古屋市> COP10 民主党政策調査会環境部門会議。環境NGOと意見交換会を開催。